

5月11日に、ロシアと、ウクライナの関係
について神戸新聞の記者の人に来ていただいた
て、ものすごくためになる事をたくさん教え
ていただきました。その特にそうなんだ、し
らなっかった、おどろいた事を発表します。
記者の方には、2月25日のロシアがウクラ
イナに攻撃した日の新聞をもらいました。そ
の内容は半分以上がその戦争についての記事
でした。最初は、ウクライナとロシアの戦争
について、いつも知りませんでした。が、少しも
この戦争について知る事が出きました。他に
は、新聞の見方について教えていたいただきまし
た。たとえば新聞は、見出しを見ればだいた
いの見通しがつくなどの「二まざまな事をおし
えてもらいました。特にすごいと思っ、た事は
きのうの「じけんや、スポーツ、アメリカなど
の海外で活やくする選手の手のニ、トスや速ほう
などを翌日の朝までにいろいろな家に届けて
ると思うと、すごいと思いました。今度どの
ようなスピードで、新聞を作っているのか、

またどのようない程なのか気になります。

このじり業で、たくさんの事が、知る事が
できました。とても元気になっていた事はかり
だつたので楽しかったです。本当にありがと
うございました。

ぼくら一年生は、新聞記者の人がきてその
 人に新聞の話やいまニュースなどやっています
 るロシアとウクライナのことも話してもらい
 ました。
 ぼくは記者さんから、新聞の話を聞いたと
 き新聞には、フュイクニュースなどの嘘の情
 報がなく、大事な情報もいっぱいあります
 し、悪いニュースだけでなく、いいニュース
 もあってよいと思いました。将来なろうと思
 っているものの候補に入りました。
 次にぼくは、記者さんからロシアとウクラ
 イナの話しをしてもらいました。
 今のロシアとウクライナは争っている戦争状
 態で、なぜまだこんなことが思っているの？
 と思います。あんなにも残酷なことがな
 ぜくりかえし行なわれるの？とすごく思いま
 した。
 ぼくは今回のロシアとウクライナの話をき
 いて思ったことは、どうしたら戦争がなくな
 るかとすごく考えたところ、みんながたれも

がたれでも家族のように思いだれひとり差別
されたりいじめられたりされたりよくな人に
一人一人がいしきして平和な世界になればい
いなと思いました。

五月十一日の六時、間目に、記者の人が来て
 くださいました。その授業で、ロシアとウク
 ライナのことについてを教えてくださいまし
 た。その中で、写真の資料を教帳見ました。
 が、れきの下に人がいる写真でした。そして
 とても残酷だと思いました。それに、ロシア
 の大統領のプーチンは、こんなにウクライナ
 の人々が亡くなっているのに、またウクライナを
 攻めるなんてとても酷い人だと思いました。
 ロシア派だという人も中にはいると思いま
 す。が、ミサイルで病院や小学校などの人々が避
 難している所を崩壊する行為は本当にひどい
 と思います。

今回のこの授業を受けて、今私達ができる
 ことは募金かなと思います。日本の納税一億
 人の国民が募金したこのお金で、ウクライナ
 の町の復旧ができます。ろといいなと思いま
 した。私の理想の世界は、安全で平和な世界です。
 だから、今仲が悪い国は仲直りをしてほし
 い。と、思っています。そして、世界から戦争がな

く
な
る
と
い
い
と
思
い
ま
す
。

私たちの学校では、5月12日に新聞記者の
 方が学校に来てくださり、新聞や戦争のこと
 について話をしてくれました。
 記者の方の話はとてと「戦争」というこ
 とも考えさせられました。もし今、戦争外は
 じまったら？、もし今、ばくだんが落ちてき
 たら？、はどとも考えこしまい、少しはた
 がたまりました。新ためて「戦争」ということ
 を考えると、こゝでも身証はことだと思いまし
 た。私は今、こゝろやっぱ机に向かいこの作文
 を書いている今も、どこかの国では、人が殺
 し合い、すこしでも長らえようと、国を守ら
 うと必死に戦っている、民間人も殺され、
 いるということを考えるととてとこわくてし
 方がないです。けど、だからこそ「戦争」
 という問題をいちはやく解決もないといけな
 いと思いました。
 問題を解決するためには戦争をするんじや
 ないんです。問題を解決する方法はたくさん
 あって、話し合いで解決できるんです。今

さらやめねない。だってプライドが、じつは
いです。プライドなんの関係ないです。この
し、んかんにくたささんの人が傷つき殺されて
いるんです。そういう方こそ一人一人が理解
し、つたえていかなければならないと考えて
います。
戦争はこわいですが。ばくだんを落とされる
とわたしたちはいっし、んで死にます。なん
のいたみもなく死んでいくんです。そんなの
だめです。この世界がすこしでも早く、平和
になれればいい。私はどうかがっしいます。

け	市	て	を	戦	大	ま	そ	今	い	私	こ	る	は	今	新	の	記	イ	私
く	民	は	わ	争	り	り	の	日	ま	は	く	ん	ウ	日	聞	し	者	十	は
る	が	し	か	は	し	し	こ	の	ま	ウ	ろ	な	ク	の	は	の	の	の	は
し	わ	し	か	つ	し	ら	と	新	ま	ク	し	ん	ラ	シ	た	戦	人	の	今
人	に	い	っ	み	よ	な	を	聞	ま	ラ	て	か	イ	ア	た	争	か	の	日
ひ	一	び	と	の	う	か	あ	記	ま	イ	い	け	に	と	い	の	さ	二	一
い	回	ま	ほ	な	と	、	し	者	ま	ナ	る	の	お	ウ	こ	と	度	日	日
る	な		しい	い	思	ま	え	の	ま	を	な	ま	と	ク	を	は	と	一	日
か				人	い	し	え	人	ま	お	な	く	い	り	は	な	と	日	日
				を	ま		い	に	ま	う	な	な	る	し	な	さ	く	日	日
ど	と		も	さ	た	こ	な	か	ま	ら	て	な	ら	て	い	ま	ま	日	日
ん	ほ		う	ぶ		み	な	か	ま	ん	い	な	い	り	ま	ま	し	日	日
だ	しい		二	つ		か	な	が	ま	し	る	な	い	る	ま	た	日	日	日
け	い		度	け		な	か	な	ま	た	人	な	い	も	さ	日	日	日	日
の	び		と	て		な	が	か	ま	い	を	を	と	い	日	日	日	日	日
人	す		し	い		い	な	か	ま	と	を	ら	日	ま	日	日	日	日	日
が			な	る		ま	か	な	ま	思	を	う	日	す	日	日	日	日	日
な	ど		い	る		ま	な	し	ま	こ	を	て	日		日	日	日	日	日
く	ん		と	こ		ま	ら	た	ま	こ	を	い	日		日	日	日	日	日
な	だ		思	と		ま	あ	い	ま	こ	を	か	日		日	日	日	日	日

て
い
ま
ま
わ
か
っ
て
ほ
し
い
と
私
は
そ
う
田
心

私は、ロシアとウクライナのような戦争が
 起こる原因は、人間の自己中心的な欲望のま
 まに利益を求め続けるからだと思えます。一
 まり、力を持った支配者のいない状況、自然
 状態では、人間という生き物は自らの利益の
 ために戦争を始めたりするということです。
 しかし、国家という力を持った支配者を置く
 ても、第一次世界大戦や第二次世界大戦が
 起こってしまい、多くの犠牲者を出してしま
 いました。
 このようなことから、世界から戦争を無く
 すためには、国家という存在よりも強い支配
 者が出てくることか鍵になってくるのではな
 いかと思いました。国家よりも強い存在が出
 てくることで、このロシアとウクライナの戦
 争も収束がみえてくると考えました。
 もし、日本にも戦争が起きるかもしれない
 という危機が万一訪れたとしても、冷静にそ
 の時にぬった判断をし、行動に移していきた
 いです。そして、**極限戦争**という道はさけて

通、て行き、平和な社会を目指していきたい
です。

私は、今日の六時間目の授業で大きく二
つ新しいことを学べました。
まず一つ目は新聞のよさについてです。
私は普段SNSやテレビのニュースで情報を
手に入れていて、新聞には興味はあまりあり
ませんでしたが、でもSNSにはデマ情報が
流れたりと危険なこともあるのだと知れまし
た。また、逆に新聞には正しい情報がある
ているし見出しの文字は大きいところとか見
やすく読みやすいことも分かりました。私も
一泊秘住の新聞をつくるので見出しやリ
ード、本文の書き方なども？と知りたいと思
いました。
二つ目はウクライナとロシアの戦争につ
いてです。音楽をつかっこの説明など分かり
やすくかつ友です。私もウクライナの戦争の存
在は知っていました。日本の戦争ではないの
で自分には関係ないと思っっていました。
もお話しを聞いていると、今自分にできるこ
とを考えるようになっていりました。意見はだせま

せんでしたから、考えるきつかけができてよ
うなと思いました。今日学んだことを次親
関を書くときや将来に生かしたいです。

ぼくは、ウクライナとロシアの戦争を止め
 るには、正直中学生の力だけで無理だと思
 っています。なぜなら、ウクライナとロシアは
 有名人でも政治家でもない人の意見を聞いて
 いる場合ではないと思うからです。かと言っ
 て、ぼくたちは何もした分けにはいきません
 ぼくたちは、戦争を止めるのは無理です
 が、避難民の支援をすることはできます。それ
 は、募金です。募金があれば、避難してきた
 人などには、食事や破壊された街の復興などがで
 きます。このことから、ぼくは、ウクライナと
 ロシアの戦争に関して、ぼくたちにできること
 は募金だと思ひます。意見文終あり

今回の授業はスライドや資料があまり分かり
 やすく、^{紹介}紹介のやりごと復習のページがあ
 たのびとても覚えやすかったです。新聞のこ
 とだけでなく、ウクライナとロシアの戦争の
 こともくちくちく教えてくださったのでより一
 層政治や戦争に関心をもちたいなりました

またこのゆが授業があつたりいりかと思
いまして、授業感想文終あり

私が、授業下字人だことは、大きく分けて、
 二つあります。新聞の書き方について大
 一つ目は、新聞の書き方について大
 きいタイトルと、小さいタイトルをかくこと
 で、その記事の内容がたいたい分かること、
 また、分かりやすいように、絵や図、グラフ
 などを用いて、工夫していることなどを学ぶ
 ました。記者の方（新聞を作っている方）は、
 へこのようにしたら分かりやすくなるだろう
 へこのような記事が興味あるのだろうと、
 大きくさん考えていらっしやるのかなと思いま
 した。大変な仕事だなと思えます。
 二つ目は、今、ウワライナとロシアの間で
 起きている戦争の事についてです。戦争は、
 簡単バムカセくなっただけで、しょうの、
 これは本当によくないことだし、悲しい出来
 事、下非惨な事です。だから、私達に何か少し
 下も助けられる方法は無いかと考えました。
 金するといふ案も思いうかがひました。大
 際、私達はお金をかせぐことができません。

けれども、願うことや発信することはできません。戦争が早く終わるよう願う、家族や友達と戦争の事について話し合う、発信していくことはできるのではないかと思います。あります。この授業を通して、新聞、特に戦争の非惨について考えさせられました。とても良い機会になりました。

ロシアがウクライナに侵入して政めるなど戦争が始まってから二ヶ月、いつ終わるのかすごく心配です。このまま長く続くと戦争が拡大して第三次世界大戦になっってしまうかもしれない。日本は核兵器が使われた時に、どれだけのぎせいが出るか被爆国として『核兵器廃絶』を全世界に伝えないといけないと思います。特にロシアや中国、北朝鮮、アメリカなど核兵器でおどしてくる国には原爆の危険をうったえることが必要だと思います。この戦争により経済的ダメージも大きいです。石油や天然ガスがたくさん取れるロシアからエネルギー資源が手に入らなくなれば石油や天然ガスの値段が上がって、石油を使う製品や火力発電などの費用が高くなり物の値段や電気代まで上がり生活が苦しくなるので大変になりそうです。なにより、これ以上戦争で亡くなる人が出てほしくありません。

この戦争について自分ができることは何か考えてみました。まずは募金などに協力する

事です。一人一人が少しでも良いからお金を
出して、戦争などで苦しんでいる人が繁らにな
るようにしてあげる事が大切だと思います。
また、戦争などについて自分でしっかり考え
る事も大切だと思います。

今回の授業で新聞の役割などくわしく教え
てくださったので知らなかった事を少しでも
知ることが出来ました。見出しを見ただけで
だいたいどんな内容なのか分かるという事
など、分かりやすく写真やイラストで伝えて
くれた部分もあって、たので良かったです。

今 ウワライナとロシアで戦争がおこった
 いるのは知っていませんね。その戦争について
 新聞をおしえてもらいました。その時に
 配られた新聞は、戦争が始まった次の日に
 配られた新聞下した。その新聞にはあつた
 のことがかかれていました。新聞は、情報を
 出すのがおそいと思つていました。以外と
 早いんだなと思つていました。それで、この話は
 関係のないので、戦争が始まったのが
 2月24日下の新聞が配布されたのが2月25
 日です。その次の日お祈りの誕生日とかなこと
 におどろきました。
 私はロシアとウワライナの戦争は、おあいな
 ことというところやめるべきだと思つてます。な
 ぜかというところなくさんの人の命が失われる
 からです。日本でも東日本大震災が、阪神あ
 けじ入震など、物くの人がかたくなつていま
 す。外、それには自然災害なので止めることは
 できません。これは止められるからです。早く

止めて、平和な世界になっ
てほしいです。

私は、この学習を愛して、
親聞のことに

命の大切さを学びました。
学んでよかったです。

す。

私は新聞について、戦争についてもよく
学び、ことができませんでした。
まず新聞についてです。私は新聞のメリッ
トはいろんな人にたくさん情報を届けられ
るところだと思っ、ていました。でも話を聞く
と他にもたくさんさんのメリットがあることがわ
かりました。新聞があることによつて、人権
人命を守ることにつながつていろいろあります。
私は新聞記者という職業は人々にとつて、と
ても無くてはならない職業なんだと知ること
ができました。
次に戦争についてです。今、ウクライナと
ロシアが戦争をしていますが、昔は日本も戦争
をしていたそうですが、そんな体験をしてい
ない私は戦争という出来事に全く関心をもて
ませんでしたが、でも話を聞きたいので、
「た新聞の戦争の記事の写真をみると戦争
というものはとても悲惨なんだと感じました。
私は今回の話を聞いて、新聞は人々を勇気
づける、また、人権・人命を守るといふこと

にもつながら、
ていて、また、
戦争について
は
関心を持ちながら
考え方を改めたい
と
思います。

ぼくは、ロシアとウクライナの戦争をニュー
 スでみて、ちよとほ金をしようかな
 と思っただら、そのほ金は、さき師のもの。
 七かのニュースを見て、よの中、悪るいんだ
 うけだなくと思ひました。そこでロシアとウ
 ライナの戦争を止めるために二つたりさくを
 考えました。
 一つめは、ロシアを全国みんなで反げます
 る。です。これはあくまで最終しただん。ロ
 シアが全国に、はんかきしてきたら、このし
 だんをちよとづつつかわないといけな
 と思ひます。もちろん、全国ロシアにかま
 もしれません。け、こうやばい
 二つ目は、みんなでロシアをせきとめる。
 です。もとは、ロシアが、てきてから戦争
 は、おきたがう、ロシアに、やめてくれるか
 もしれせん。け、ロシアが、こ、ちには
 人が、するかもしれせん。か、ちにしるこ
 わいものは、こわい
 ロシアの戦争は、いっおわるかわらない

で
お
け
じ
、
い
ろ
ん
な
ほ
う
ほ
う
が
新
聞
に
あ
っ
て

た
ら
お
も
し
ろ
い
て
さ
ね